情報公開文

2025年7月7日

『消化器癌および悪性黒色腫(メラノーマ)患者における癌特異的免疫応答反応のメカニズムの解明と臨床応用のためのトランスレーショナルリサーチ』にご協力して頂いた皆様へ

大阪大学が代表機関であり、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所にて実施しております上記研究につきまして、研究実施期間が延長されましたことをお知らせ致します。

① 研究課題名 (旧課題名)	消化器癌および悪性黒色腫(メラノーマ)患者における癌特異的免疫応答反応のメカニズムの解明と臨床応用のためのトランスレーショナルリサーチ (消化器癌患者における癌特異的免疫応答反応のメカニズムの解明と臨床応用のためのトランスレーショナルリサーチ) (膵癌患者における癌特異的免疫応答反応のメカニズムの解明と臨床応用のためのトランスレーショナルリサーチ)
② 研究の概要	本研究では、消化器がんおよび悪性黒色腫(メラノーマ)の患者さんの様々な時相における血液中の血球(主にT細胞)の分布を最新のフローサイトメトリー技術を用いて解析することにより、消化器がんおよび悪性黒色腫(メラノーマ)における癌抗原特異的免疫応答のメカニズムを解明し、早期診断や治療効果・予後などの予測に有用な表面マーカーを探索することを目的としています。
③ 研究機関の名称	大阪大学 消化器外科 大阪がんクリニック・大阪がん免疫化学療法クリニック 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 免疫老化プロジェクト
④ 研究代表者 研究責任者	小林 省吾 大阪大学医学部附属病院消化器外科・准教授 山本 拓也 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 プレシジョン免疫プロジェクト プロジェクトリーダー
⑤ 実施予定期間	2018年12月13日 ~ 2030年3月31日
⑥ 対象被験者	大阪大学消化器外科および、大阪がんクリニック・大阪がん免疫化学療法クリニックで治療されている20歳以上90歳未満の消化器癌(胃癌、食道癌、大腸癌、膵癌、肝癌、胆道癌など)もしくは悪性黒色腫(メ